

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 29

エペソ人への手紙において (1)

天上における霊の祝福の範囲と手段

聖書：エペソ 1:3-14

- I. キリストにある表現は、キリストがすべての神聖で、霊的で、天的な祝福の範囲と手段であることを示します——エペソ 1:1, 3, 10, 12. 2:6-7, 10, 13. 3:6, 11, 21. 4:32 :
- A. キリストは、神がわたしたちを祝福した美徳、手段、範囲です—— 1:3。
- B. キリストは神聖な祝福の要素です。すなわち、キリストご自身が神聖な祝福です—— 3:8。
- II. 神がわたしたちを祝福したすべての祝福は、霊的であり、聖霊と関係があります—— 1:3 :
- A. 神の霊は神の祝福の経路であるだけでなく、実際でもあります。
- B. その霊は、わたしたちが受けた神聖な祝福の性質また本質です。
- III. 神の祝福は、実は彼がご自身をわたしたちの中へと分与することです。御父は祝福の源であり、御子キリストは祝福の要素であり、その霊は祝福の性質また本質です—— 4-14 節。
- IV. キリストにある霊的な祝福は天上にあります。これは、それが天からであり、天の性質、天の状態、天の特徴、天の味わい、天の雰囲気があることを意味します—— 3 節。
- V. 神のすべての祝福で最初のもは、永遠の過去に彼がわたしたちを選んだこと、彼がわたしたちを選択したことです。彼は聖となるようにわたしたちを選びました—— 4 節 :
- A. 神はご自身、すなわち聖なる方をわたしたちの存在の中へと分け与えることによって、わたしたちを聖とし、わたしたちの全存在が彼の聖なる性質で浸透され、飽和されるようにします—— 4 節。
- B. わたしたち、神の選ばれた者が聖となるとは、神の性質にあずかり、わたしたちの全存在が神ご自身で浸透されることです—— I ペテロ 1:16. II ペテロ 1:4。
- VI. イエス・キリストを通して、神はわたしたちを子たる身分へとあらかじめ定めました——エペソ 1:5 :
- A. イエス・キリストを通してとは、神の御子である贖い主を通してを意味します。
- B. 神が前もってわたしたちになされたことは、わたしたちを子たる身分へと定めることでした。彼はわたしたちをしるしづけ、彼の子となる命を持たせ、彼を受け継ぐ地位を持たせました—— 14 節。
- VII. 神は愛する方の中で、すなわち、彼が喜ぶキリスト、彼の愛する御子の中で、わたしたちを恵みました。こうして、神はわたしたちを恵んで、彼が喜ぶ対象としました—— 6-8 節. マタイ 3:17. 17:5。
- VIII. わたしたちは愛する方の中で、神が喜ぶ方の中で贖われました。神の目に、贖いは喜ばれる事柄です——エペソ 1:7。

IX. 神が彼の願いにしたがって、ご自身の中で計画したエコノミーは、時代の満了時に、キリストの中で、すべてのものをかしらにつり上げることです。これが成し遂げられるのは、命の要因としての三一の神の満ちあふれる命の供給を、召会のすべての肢体の中へと分与して、彼らが死の状態から起き上がり、からだに結び付けられることを通してです—— 9-10, 22-23 節 :

A. 神が彼の被造物の間で一を回復する道は、ご自身をキリストにあって命としてわたしたちの中へと分け与えることです——ローマ 8:6, 10-11, 19-21。

B. 命としての三一の神は光をもたらし、光は調和を生み出し、万物を一の中へともたします——ヨハネ 1:4. 8:12. 啓 22:1-2, 5. 21:24。

X. わたしたちはキリストにある相続人とされ、神をわたしたちの嗣業として受け継ぎます——エペソ 1:11, 14, 18 :

A. キリストは、わたしたちが宝へと造り変えられて、神の嗣業、彼の個人的な固有の所有となる要素です—— 18 節。

B. 神は宝であり、宝としてのご自身をわたしたちの中へと造り込んで、わたしたちが彼にとって宝となるようにしつつあります——Ⅱコリント 4:7。

C. これはすばらしい相互の嗣業です。わたしたちは神の嗣業となって彼に享受していただき、神はわたしたちの嗣業となってわたしたちに享受させます——エペソ 1:14, 18。

XI. わたしたちはキリストの中で、聖霊の証印と担保を持っています—— 13-14 節 :

A. 聖霊で証印を押されるとは、証印としての聖霊でしるしづけられることです。これは、わたしたちが神に属しており、聖霊がわたしたちに神のかたち（しるしで表徴される）を帯びさせ、こうしてわたしたちを神のようになることを示します—— 13 節。

B. その霊の担保はわたしたちの享受のために与えられます。その霊がわたしたちの内側で担保を入れれば入れるほど、ますますわたしたちはキリストの享受を持ちます—— 14 節。

C. 聖霊の証印は、わたしたちが神の嗣業であることを示しますが、彼の担保は、神がわたしたちの嗣業であることを示します—— 1, 13-14, 18 節。

D. その霊の証印と担保は、完全にわたしたちを造り変えて神の宝とし、究極的にわたしたちを神格においてではなく、命と性質において神とします。

XII. その霊が証印と担保の中で分与することは、わたしたちの体の贖いという結果になります—— 13-14 節 :

A. 14 節の贖いは、わたしたちの体の贖い、わたしたちの体が栄光の体へと変貌することを指しています——ローマ 8:23. ペリピ 3:21。

B. 聖霊は今日、わたしたちの神聖な嗣業の保証また前味わいであり、わたしたちの体の変貌させられるに至り、その時わたしたちは完全に神を受け継ぎます——エペソ 1:13-14。

C. 神がキリストの中でわたしたちに与える祝福の範囲は、永遠の過去における神の選びから、永遠の将来におけるわたしたちの体の贖いまでの、すべての重要な点を網羅します—— 4, 14 節。